

大学とNPOの協力に関する調査票

【調査対象】群馬県内の大学・短期大学

【回答方法】「ぐんま電子申請受付システム(LoGo フォーム)」にて御回答ください。

- パソコンの方は右の URL から <https://logoform.jp/f/NVuZo>
- スマートフォン・タブレットの方は QR コードを読み込んでください



【回答期間】令和6年11月8日(金)23時59分まで

調査の趣旨、目的

この調査は、群馬県内の NPO と企業との協力の現状と課題を把握し、協働による地域づくり推進に係る施策を検討するために実施します。

調査結果は、令和 7 年度改定予定の「協働による地域づくりに関する指針」において群馬県の目指す施策の方向性等を定める際の参考とさせていただきます。

[「協働による地域づくりに関する指針」についてはこちらをご覧ください。](#)

(<https://www.pref.gunma.jp/site/npoborantia/16788.html>)

この調査票に出てくる言葉について

NPO	社会や地域のために自主的な活動をしている民間の団体。特定非営利活動法人(NPO 法人)のほか、法人格を持たないボランティア団体・市民活動団体、公益社団・公益財団法人、非営利型の一般社団・一般財団法人も含まれます。
協力	複数の主体が力を合わせて事に当たること。事業の共同実施、業務委託、物品や資金の寄附・協賛、イベント出展、講師の派遣・依頼、広報協力など、幅広い内容を指します。公共的な課題を解決することを共通の目的として、相互理解のもと、対等な立場で役割分担しながら共に活動する「協働」も、この中に含まれます。
コーディネート	人や団体の間に立って、連絡調整や情報提供、助言をすること。協力相手や参考事例を紹介する、打ち合わせに同席するなど、協力が上手くいくように関わること。

Q1. 貴学についてご回答ください。

名称	
所在地	
回答者の所属部署	
回答者以外で社会貢献活動・地域連携を担当する部署があれば、部署名をご記入ください。	
回答者の役職	

大学とNPOの協力に関する調査票

回答者の氏名	
電話番号	
メールアドレス	
ウェブサイトアドレス	
学生数(1つ選択)	1. 500人以下 2. 501～1,000人 3. 1,001～2,000人 4. 2,001～3,000人 5. 3,001～5,000人 6. 5,001～10,000人 7. 10,001人以上

Q2.社会貢献活動・地域連携を実施していますか。(1つ選択)

1. している
2. していない
3. その他()

Q3.職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか。(1つ選択)

1. 支援している
2. 支援していない → Q5へ

Q4.職員・学生が個人で行う社会貢献活動への支援は、どのような方法で行っていますか。(複数選択可)

1. 物資の提供
2. 金銭的な支援
3. 大学施設・設備の開放
4. 社会貢献活動の情報提供
5. 社会貢献活動の体験機会の提供
6. ボランティア休暇
7. ボランティア休職・休学制度
8. ボランティアに必要な能力開発支援
9. 職員・学生の学内表彰
10. その他()

Q5.NPO の活動分野や活動内容等についてどのように認識されていますか。(1つ選択)

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. よくわからない
4. まったくわからない

大学とNPOの協力に関する調査票

Q6.NPO に対するイメージをお答えください。(複数選択可)

1. 何をしているのかわからない
2. 行動的
3. 友好的
4. 役立つ・頼もしい
5. 先進的
6. 熱意がある
7. 何となく怪しい
8. 信用できない
9. 近寄りにくい
10. 頼りない
11. 特にイメージはない
12. その他()

Q7.NPO に関する情報をどこから入手していますか。(複数選択可)

1. NPO のチラシ・パンフレット
2. NPO のホームページ・メールマガジン
3. NPO の SNS
4. 行政
5. 市民活動支援センター
6. 社会福祉協議会
7. 既に関係のある NPO
8. NPO と個人的に関係のある大学職員
9. NPO と個人的に関係のある学生
10. 他大学の担当者
11. 特に入手していない
12. その他()

Q8.NPO (NPOの活動) に期待することは何ですか。(複数選択可)

1. 地域の課題の解決による地域活性化
2. 地域コミュニティの連帯感の創出・強化
3. 地域住民の社会貢献活動の場・機会の提供
4. 地域住民の雇用創出の場・機会の提供
5. 行政や企業にはできない分野の活動
6. NPO の専門性を活かした大学からの業務委託
7. 大学との協力の対象
8. 大学職員・学生の社会貢献活動の場・機会の提供
9. 大学職員の退職後の生きがいづくりや就業の場

大学とNPOの協力に関する調査票

10. 特に期待することはない

11. その他()

Q9. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはありますか。(1つ選択)

1. ある

2. ない → Q19へ

Q10. NPOへの協力は、どのような内容でしたか。(複数選択可)

1. 資金(寄附金、協賛金、助成金)の提供

2. 施設の提供

3. 機材・資材の提供

4. 物品の提供

5. 技術やノウハウ、その他専門的知識の提供

6. 調査・研究の共同実施

7. 商品・サービスの共同開発

8. イベント等の共同開催

9. 講義での連携

10. 有識者の紹介

11. 講師・専門家の派遣

12. 大学職員の配置・派遣

13. 大学職員・学生をボランティアとして派遣

14. NPO職員を大学に受入れ

15. 大学の社会貢献活動・地域連携に対する助言をNPOに依頼

16. 学内への広報

17. 広告・ウェブサイト等での広報

18. その他()

Q11. NPOと協力した理由は何ですか。(複数選択可)

1. 地元地域の活性化・発展のため

2. NPOや社会への理解を深めるため

3. 大学の社会的責任として

4. 大学のイメージ向上のため

5. 学生の満足の向上として

6. 地域の情報を獲得し、地域での研究を容易にするため

7. 将来の研究に結びつくかもしれないから

8. その他()

大学とNPOの協力に関する調査票

Q12. NPOと協力したきっかけは何ですか。(複数選択可)

1. 大学から相手のNPOに話をした
2. 相手のNPOから大学に話があった
3. 経済団体から話があった
4. 他大学から話があった
5. 行政から話があった
6. 市民活動支援センターから話があった
7. 社会福祉協議会から話があった
8. 中間支援を行うNPOから話があった
9. 大学職員から話があった
10. 学生から話があった
11. 地元の人や地域団体から話があった
12. NPO関係者と偶然居合わせて意気投合した
13. その他()

Q13. NPOとの協力において、どのような立場の人がコーディネートを行いましたか。(複数選択可)

1. 大学の担当者
2. 相手のNPOの担当者
3. 経済団体
4. 行政
5. 市民活動支援センター
6. 社会福祉協議会
7. 中間支援を行うNPO
8. 税理士など士業の専門家
9. 共通の知人(上記以外の)
10. いない
11. その他()

Q14. NPOとの協力において、どのような場面でコーディネーターが関わりましたか。(複数選択可)

1. 協力相手の紹介
2. 取り組みの打ち合わせ
3. 取り組みの現場
4. 取り組み後のふり返し
5. なし
6. その他()

Q15. NPOとの協力に対する評価として、どのようなものがありますか。(複数選択可)

大学とNPOの協力に関する調査票

1. 社会課題の解決につながった
2. 協力先の NPO との結びつきが強まった
3. 大学の知名度、認知度を高めることにつながった
4. 大学のイメージ向上につながった
5. 学内の活性化につながった
6. 学内の意識変化につながった
7. 地域社会や他大学からの信頼が高まった
8. 学生の能力向上につながった
9. 良い学生が確保できるようになった
10. 入学希望者の増加につながった
11. 学生の大学に対する誇りが高まった
12. 学生の学習の質が高まった
13. 学生の新たな学習機会につながった
14. 予算の節減につながった
15. 成果は得られなかった
16. その他()

Q16. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して実施した取り組みについて、主なものを2つまで、その内容を回答いただくことは可能ですか。

1. 回答可能です
2. 回答できません → Q20へ

群馬県では、NPOと企業・大学が協力して実施した取り組み事例を収集しています。

今回の調査で取り組みの内容をご回答いただいた大学の中から、3大学程度に、ヒアリング調査の実施を予定しています。

ヒアリング調査をお願いする場合は改めて連絡させていただきますので、その際にはご協力をよろしくお願いします。

なお、ヒアリング調査への協力は任意です。

「ヒアリング調査には協力できないけど、今回の調査には回答できる」という方にも、取り組み内容を回答いただけますと幸いです。

Q17. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して実施した取り組みの内容をご記入ください（主なもの1つ目）。

①	取り組みの名称	
	実施内容	
	主催者	
	協力したNPOの名称	

大学とNPOの協力に関する調査票

協力の開始時期	年 月
協力した活動分野 (複数選択可)	1. 保健、医療又は福祉の増進 2. 社会教育の推進 3. まちづくりの推進 4. 観光の振興 5. 農山漁村又は中山間地域の振興 6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 7. 環境の保全 8. 災害救援 9. 地域安全 10. 人権の擁護又は平和の推進 11. 国際協力 12. 男女共同参画社会の形成の促進 13. 子どもの健全育成 14. 情報化社会の発展 15. 科学技術の振興 16. 経済活動の活性化 17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 18. 消費者の保護 19. NPOに関する連絡、助言又は援助 20. 該当なし 21. わからない
協力で担った役割 (複数選択可)	1. 取り組みの主要部分を実施 2. 資金(寄附金、協賛金、助成金)の提供 3. 施設の提供 4. 機材・資材の提供 5. 物品の提供 6. 技術やノウハウ、その他専門的知識の提供 7. 調査・研究の共同実施 8. 商品・サービスの共同開発 9. イベント等の共同開催 10. 講義での連携 11. 有識者の紹介 12. 講師・専門家の派遣 13. 大学職員の配置・派遣 14. 大学職員・学生をボランティアとして派遣 15. NPO職員を大学に受入れ 16. 学内への広報 17. 広告・ウェブサイト等での広報

大学とNPOの協力に関する調査票

	18. その他()
書面による取り決め (複数選択可)	1. 委託契約 2. 請負契約 3. 協定書 4. 覚書 5. なし 6. その他()

**Q18. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して実施した取り組みの内容をご記入ください
(主なものを2つ目)。**

②	取り組みの名称	
	実施内容	
	主催者	
	協力したNPOの名称	
	協力の開始時期	年 月
	協力した活動分野 (複数選択可)	1. 保健、医療又は福祉の増進 2. 社会教育の推進 3. まちづくりの推進 4. 観光の振興 5. 農山漁村又は中山間地域の振興 6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 7. 環境の保全 8. 災害救援 9. 地域安全 10. 人権の擁護又は平和の推進 11. 国際協力 12. 男女共同参画社会の形成の促進 13. 子どもの健全育成 14. 情報化社会の発展 15. 科学技術の振興 16. 経済活動の活性化 17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 18. 消費者の保護 19. NPOに関する連絡、助言又は援助 20. 該当なし 21. わからない
	協力で担った役割	1. 取り組みの主要部分を実施

大学とNPOの協力に関する調査票

(複数選択可)	2. 資金(寄附金、協賛金、助成金)の提供 3. 施設の提供 4. 機材・資材の提供 5. 物品の提供 6. 技術やノウハウ、その他専門的知識の提供 7. 調査・研究の共同実施 8. 商品・サービスの共同開発 9. イベント等の共同開催 10. 講義での連携 11. 有識者の紹介 12. 講師・専門家の派遣 13. 大学職員の配置・派遣 14. 大学職員・学生をボランティアとして派遣 15. NPO職員を大学に受入れ 16. 学内への広報 17. 広告・ウェブサイト等での広報 18. その他()
書面による取り決め (複数選択可)	1. 委託契約 2. 請負契約 3. 協定書 4. 覚書 5. なし 6. その他()

Q19. (Q9で NPO と協力して取り組んだことはないと回答した方にお尋ねします。)

NPOと協力したことがない理由は何ですか。(複数選択可)

1. 大学の人的資源に余裕がない
2. 大学に財政的余裕がない
3. 大学内でNPOとの協力推進の意思形成がされていない
4. NPOとの協力をサポートしてくれる組織を知らない
5. NPO が大学に関心があるか不明
6. NPO が大学運営を理解していない
7. NPO が信頼できない
8. NPO との協力による大学のメリットが不明
9. どのような活動が一緒にできるのかわからない
10. どのような NPO があるのかわからない
11. 協力できる NPO がわからない
12. NPO との協力の仕方が分からない
13. 連携に関する知識が NPO に不足している

大学とNPOの協力に関する調査票

14. 大学運営に悪影響が出ないか不安がある

15. その他()

Q20. NPOと協力するにあたって、【NPOに求めること】は何ですか。(主なもの5つまで選択可)

1. 会員を増やすこと
2. 資金力を高めること
3. 事業運営のマネジメントを強化すること
4. 組織の管理体制を整備、強化すること
5. 情報発信・情報公開を積極的に行うこと
6. 理念・方針が明確であること
7. 実績が豊富であること
8. 知名度、認知度が高いこと
9. 専門性が高いこと
10. ネットワークを持っていること
11. 地域住民と密接な関係を有していること
12. コミュニケーション能力があること
13. 効果的な事業計画・企画書を作り、協力の具体的な案を提示すること
14. 協力の成果を可視化すること
15. 協力するメリットを提示すること
16. 大学に関する情報収集を行うこと
17. 特にない
18. その他()

Q21. NPOのどのような情報があれば、協力しやすいと思いますか。(複数選択可)

1. NPOの活動の理念・目的
2. NPOの組織体制
3. NPOの収支状況
4. NPOの会員の顔触れ
5. NPOの活動実績
6. NPOと他大学との協力実績
7. NPOの行政との関係
8. 他のNPOとのネットワーク
9. わからない
10. その他()

Q22. NPOと協力するにあたって、【行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割】は何ですか。(主なもの3つまで選択可)

1. NPOの情報の提供

大学とNPOの協力に関する調査票

2. NPO との協力の仲介
3. NPO との協力のマネジメント、助言
4. NPOと知り合う機会、意見交換する機会の提供
5. NPO との協力の事例の紹介
6. NPOとの協力を行うメリットや社会的意義に関する情報の提供
7. NPOとの協力の具体的な提案
8. NPOと協力するための窓口の設置
9. NPOとの協力に関する講座の開催
10. 特に望む支援はない
11. わからない
12. その他（ ）

Q23. 今後、条件が整えば、NPO と協力した取り組みを行いたいと思いますか。(1 つ選択)

1. はい
2. いいえ → Q27へ

Q24. どのような活動分野の NPO と協力してみたいですか。(主なものを5つまで選択可)

1. 保健、医療又は福祉の増進
2. 社会教育の推進
3. まちづくりの推進
4. 観光の振興
5. 農山漁村又は中山間地域の振興
6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興
7. 環境の保全
8. 災害救援
9. 地域安全
10. 人権の擁護又は平和の推進
11. 国際協力
12. 男女共同参画社会の形成の促進
13. 子どもの健全育成
14. 情報化社会の発展
15. 科学技術の振興
16. 経済活動の活性化
17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充
18. 消費者の保護
19. NPOに関する連絡、助言又は援助
20. 該当なし
21. わからない

Q25. NPOと協力する場合に【貴学から提供できる資源】は何ですか。(複数選択可)

1. 資金(寄附金、協賛金、助成金)の提供
2. 施設の提供

大学とNPOの協力に関する調査票

3. 機材・資材の提供
4. 物品の提供
5. 技術やノウハウ、その他専門的知識の提供
6. 調査・研究の共同実施
7. 商品・サービスの共同開発
8. イベント等の共同開催
9. 講義での連携
10. 有識者の紹介
11. 講師・専門家の派遣
12. 大学職員の配置・派遣
13. 大学職員・学生をボランティアとして派遣
14. NPO職員を大学に受入れ
15. 学内への広報
16. 広告・ウェブサイト等での広報
17. その他（ ）

Q26. NPO と協力する場合に【NPO に期待する役割】は何ですか。（主なもの5つまで選択可）

1. 取り組みの主要部分を実施
2. 施設の提供
3. 機材・資材の提供
4. NPO の製品・サービス・物資の提供
5. 技術やノウハウ、その他専門的知識の提供
6. 調査・研究の共同実施
7. 商品・サービスの共同開発
8. 講師・専門家の派遣
9. NPO職員の配置・派遣
10. NPOボランティアの配置・派遣
11. 大学職員・学生をボランティアとして受け入れ
12. 大学の社会貢献活動・地域連携に対する助言
13. 行政との関係構築
14. 地域社会の情報提供、地域社会との関係構築
15. 会報紙やウェブサイト等での広報
16. その他（ ）

Q27. 貴学の理念と関係する SDGs（持続可能な開発目標）のゴールはどれですか。（複数選択可）

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに

大学とNPOの協力に関する調査票

3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう
18. 該当なし
19. わからない

Q28. 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用していますか。(1つ選択)

1. 対外的に活用している
2. 対外的ではないが、内部で活用している
3. SDGsは知っているが、活用していない
4. SDGsを知らない

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。